

日本初のトッププレティ 伊藤梅子



慶応元年、刺客に襲われた伊藤博文は亀山八幡宮の境内で、茶屋のお茶子だった木田梅子に助けられたのが縁で、翌年夫婦になりました。

初代内閣総理大臣になった伊藤博文の妻となった梅子は、常々身だしなみに気を配り、和歌や英語の習得にも努めるなど婦徳の鏡とされ、良妻賢母の典型と称されるまでになりました。

名池の井戸のほとりに所帯を構えたことから、その家を「名池庵」とか「芳梅書屋」と呼ばれていました。

お亀茶屋跡は亀山神社境内に、居住地銘板は田中町15番に、名池の井戸はその銘板から西に90mのところにあります。